

特別企画

『ハンセン病問題の今』パネル展

日時 2017年 12月5日(火)～12月13日(水)
10:00～15:00

場所 ヒューマンわーくぴあ徳島5F大ホール
[徳島市昭和町3丁目35-1]

入場
無料

内容 ハンセン病について正しく理解するための学習用パネル
ハンセン病というベールに包まれた作家・北條民雄のパネル

大島に生きて。

私が住む香川県高松市には大島という島があります。大きい島と書いて大島。でも実際は港の海岸から反対側の海岸まで徒歩で10分もかからない小さな島です。そんな小さな大島には、かつて740人もの人たちが住んでいました。その人たちは、昔からこの島に住んでいたのではなく、島の外から来た人です。いえ正しく言うと連れてこられた人たちです。小学生や中学生の時に、お父さんやお母さんから引き離されて、この島の中に閉じ込められた子ども達もたくさんいました。

:

ハンセン病は「らい菌」という菌が目や皮膚に入り、失明したり、指や顔の一部がなくなっていく病気です。お薬ができたおかげで「らい菌」はなくなりました。だからもう誰かに「うつる(伝染する)」という心配はありません。ただ病気でなくした目や皮膚、神経は元に戻りません。病気が治っても体が痛いとか、他の病気の原因になることもあります。後遺症です。

:

元アナウンサー 蓮井孝夫

[引用元:国立ハンセン病療養所のある島 oshima.mothertown.tv]



作家
北條民雄の肖像

[引用元:徳島県立文学書道館 文学特別展『北條民雄—いのちを見つめた作家』パンフレット]

●徳島県労働福祉会館は、公益目的事業として「社会運動資料センター事業」を2014年度よりスタートさせました。●社会運動はその性格上、一定の役割を果たすと運動母体が消散し、運動に関わる様々な資料は散逸するものも数多くあります。●資料センターではこうした貴重な文献資料を集積し、広く県民の皆様へ閲覧開放しております。また公開講座や企画展の開催も行っております。

お問 合 せ

一般社団法人徳島県労働福祉会館 とくしま社会運動資料センター事務局
〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1 TEL 088-602-0532/FAX 088-625-5005
メール roukan@workpia-tokushima.jp URL http://workpia-tokushima.jp